

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5. 1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標 17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。

【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標の達成状況

●茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発

項 目	実施時期	内 容
課長級職員研修	4 月	C-EMS の説明、システム全般についてと役割説明 (講師:(株)知識経営研究所)
新採用職員研修	10 月	茅ヶ崎市の環境、C-EMS の説明 (講師:環境政策課職員)
外部監査	1 月	文書監査、訪問監査、及び前回の外部監査結果に対する対応状況の総合的な評価(報告書は市ホームページ、庁内イントラネットで公表) (監査実施機関:(株)知識経営研究所)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修(4 月)、新任・異動者レク(適宜)、法令遵守を確認する会(4 半期に 1 回)、環境リスク対応研修(年に 1 回以上)
C-EMS レターの発行	5 回/年	第 9 号(平成 23 年度の取組結果など) 第 10 号(平成 24 年度部局環境活動スローガンなど) 第 11 号(リターナブルびんの導入についてなど) 第 12 号(今冬の節電対策など) 第 13 号(平成 24 年度上期取組結果についてなど)

●外部研修への参加

項 目	主催	参加者所属(人数)
環境パートナーシップ研修(5 日間)	環境省環境調査研修所	環境政策課(1 名)
県・市町村環境学習担当職員研修	神奈川県環境科学センター	環境保全課(1 名)
環境モニタリング技術研修(5 日間)	環境省環境調査研修所	環境保全課(1 名)
土壌・地下水環境研修(4 日間)	環境省環境調査研修所	環境保全課(1 名)
動物愛護管理研修(4 日間)	環境省環境調査研修所	環境保全課(1 名)
大気水質担当職員研修	神奈川県	環境保全課(2 名)
廃棄物行政担当者研修会	(財)日本環境衛生センター	資源循環課(1 名)
景観行政に関する研修	神奈川県県土整備局	拠点整備課、都市計画課、景観みどり課、建築課、下水道河川建設課、教育施設課(計 9 名)

●先進自治体等への視察

視察先(テーマ)	主催	参加者所属(人数)
ドイツ:フライブルク市、ヴィルトポルツリート村、オーストリア:ウィーン市、ギュッシング市(新エネルギー政策の取組み、新エネルギーについて)	(公財)神奈川県市町村振興協会	環境事業センター(1名)

■目標の達成状況への評価

評価	目標に対する評価の目安:
C	A:目標を全て達成している(100%)、B:目標をほぼ達成している(80~99%)、C:施策を実施中(21~79%)、D:研究・調査段階(1~20%)、E:未着手(凍結)(0%)
【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】 茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステム(C-EMS)については、研修や外部監査等により、庁内への周知啓発が図られています。また、外部研修への参加は、各担当課で積極的に行われており、先進自治体への視察も実施しています。一方、生物多様性や地球温暖化問題に関する学習機会の提供は十分ではなく、今後の課題となっています。	

目標 17 に向けた取り組み①

重点施策 32 庁内の環境意識の向上

■平成24年度の取り組み目標

「引き続き C-EMS の制度に基づき、庁内の環境意識の向上を図ります。

みどりの基本計画の施策評価と合わせ、自然環境や生物多様性の考え方を関係課と共有します。継続して、異動者や関係課との研修会を行います。」

■取り組みの概要

市では、一事業者として地球環境の保全と創造への先導的役割を担うため、平成 17 年 3 月に環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得し、取り組みを進めて参りましたが、より効果を上げられる独自の仕組みが必要と考え、茅ヶ崎市独自のシステムである「C-EMS」(チームス)¹を構築し、平成 22 年度 10 月より運用しています。年度当初に実施している説明会や、新採用職員対象の研修、課内研修を通じて、庁内での制度の周知と実践が図られており、各職場において環境負荷低減に向けた取り組みが主体的に行われています。環境政策課発行の「C-EMS レター」では、各職場での優良取り組みや職場でできるヒントなどを紹介し、庁内の環境意識の向上を図りました。

¹ 「C-EMS」(チームス):茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの名前。茅ヶ崎市職員全員が「チーム」となって環境に配慮した取り組みを行うという想いを込めて命名しています。

注目！トピックス

茅ヶ崎市役所エコオフィス賞：模範となる市役所内の取り組みを「茅ヶ崎市役所エコオフィス賞」として表彰しています。平成24年度は「環境事業センター」による「契約種別見直しによる電気代の削減」と「小出支所」による「スキャナーの活用による取次時間の短縮」が受賞しました。受賞内容はイントラネットで周知し、情報の共有を図っています。



「C-EMSレター」で紹介している各職場での取り組みからは、職員の環境意識が伺えます。詳しくは巻末資料105ページをご覧ください。



「進捗状況報告書」で前年度の振り返りと課題抽出を行い、市民の皆様からのご意見を踏まえて次年度以降の施策展開を検討し、「年次報告書」として公表するという仕組みにより、計画を推進してまいります。

平成24年度は、平成23年度よりスタートした「茅ヶ崎市環境基本計画(2011年版)」の取り組みを検証する最初の年であり、施策担当課と環境政策課との連携により、新たなPDCAサイクル²に基づく進行管理を行いました。特に重点施策については、担当課と環境政策課との協議を重ね、次年度以降の取り組み内容の検討を行い、その結果を平成25年2月に年次報告書として公表するという新たな手法を導入したことが、計画を推進するうえでの意識付けにつながりました。また、みどりの基本計画進行管理にあたって、自然環境や生物多様性の考え方を関係課で共有しました。景観みどり課では、昨年に引き続き、みどりの基本計画及び生物多様性についての都市部内異動者対象の研修を実施し、環境に関する情報共有を図りました。

■課題と今後の方向性

引き続きC-EMSレターの発行および庁内イントラネットを活用して、情報の提供及び共有を進め、環境意識の向上を図ります。みどりの基本計画の一部改訂の協議と合わせ、自然環境や生物多様性の考え方を関係課と共有します。都市部での勉強会・研修会については引き続き実施します。環境部内異動者対象研修は、平成24年度は実施がありませんでしたが、平成25年度に実施します。課題としては、環境基本計画の施策実施担当課以外の部署に対しての意識付けが挙げられ、今後は、環境の現況や既存の取り組み等、環境に関する情報を全庁的に提供することで、環境意識の向上を図ります。

² PDCA サイクル：PLAN(計画を立てる)、DO(実行する)、CHECK(進捗を点検し、評価する)、ACTION(必要に応じ、計画や目標・指標の見直し)の繰り返しにより継続的な改善を図っていく仕組み。

■平成 24 年度予算執行状況・平成 25 年度予算額

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
環境政策課	555 千円	531 千円	565 千円
	(C-EMS 外部監査委託費 375 千円)	(373 千円)	(375 千円)
	(C-EMS 研修委託費 180 千円)	(158 千円)	(160 千円)
	〔【平成 25 年度新規】C-EMS エコオフィス褒賞費〕		(30 千円)
景観みどり課	【平成 25 年度新規】自然環境に係る調査・研修費		(90 千円)

■重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安： A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、一:取り組みなし(0%)
C	
【施策実施担当課：環境政策課・景観みどり課】	

■スケジュール

短期：H23～	中期：H26～(案)	長期：H29～(案)
①茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの運用		
②研修・勉強会の実施		

目標 17 に向けた取り組み②

重点施策 33 庁内における人材育成

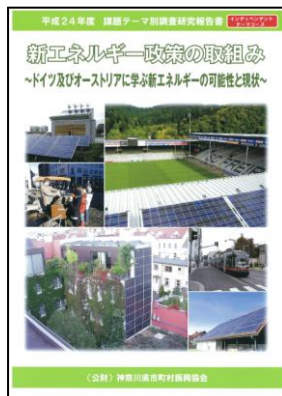
■平成 24 年度の取り組み目標

「外部研修への派遣を行うとともに、庁内研修の充実を図ります。」

■取り組みの概要

環境省や神奈川県が主催する外部研修への職員派遣を実施したほか、神奈川県県土技術発表会への職員派遣を行いました(外部研修への派遣状況は 89 ページを参照)。

また、神奈川県市町村振興協会における「新エネルギー政策の取組み」をテーマとした課題テーマ別調査研究(海外)、「環境」をテーマとした特定行政課題 調査研究にそれぞれ各 1 名ずつ職員派遣を行いました。



「新エネルギー政策の取組み
～ドイツ及びオーストリアに学
ぶ新エネルギーの可能性と現
状～」調査研究の成果をまと
めた報告書です。



平成 24 年度特定行政課題調査研究報告
会。県内の自治体職員 9 人による研究成
果は報告書「住環境における空き家問題」
としてまとめられています。

階層別職員研修としては、管理監督者向けにマネジメント能力向上研修(82 名)を行い、庁内横断的な施策をマネジメントできる能力をもった職員の育成に努めるとともに、新採用職員に対しては、市で取り組んでいる環境政策についての研修(48 名出席)を実施しました。

■課題と今後の方向性

専門的知識習得のための研修等への参加や階層別職員研修の実施を当初の目的のとおり実施し、庁内における環境意識の向上と人材育成に対して一定の成果があったと考えます。引き続き、職員の環境に関する知識・技術の向上のため外部研修への派遣、施策推進のためのマネジメント能力に重点を置いた庁内研修を実施してまいります。

■平成 24 年度予算執行状況・平成 25 年度予算額

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
職員課	1,281 千円	1,281 千円	1,360 千円
	(課長級研修 549 千円)	(549 千円)	(600 千円)
	(課長補佐研修 366 千円)	(366 千円)	(380 千円)
	(担当主査研修 366 千円)	(366 千円)	(380 千円)

■重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安： A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、一:取り組みなし(0%)
B	
【施策実施担当課：職員課】	

■スケジュール

短期：H23～	中期：H26～(案)	長期：H29～(案)
①専門的知識取得のための研修等への参加		
②階層別職員研修の実施		

施策の柱5. 2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標 18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課：環境政策課】

■目標の達成状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項 目	平成 23 年度	平成 24 年度
環境フェア来場者数	1,300 人	2,000 人
里山はっけん隊！参加者数（平成 23 年度は雨天により 1 回中止）	23 人	延べ 71 人
こどもエコクラブ登録クラブ数	8 クラブ	5 クラブ
環境市民講座参加者数	33 人	76 人
農業・漁業体験プロジェクト参加者数	50 人	61 人
親子でエコ・クッキング参加者数	11 組	8 組
公民館・文化資料館等における環境に関する講座参加者数	837 人	1,609 人

■目標の達成状況への評価

評価	目標に対する評価の目安： A:目標を全て達成している(100%)、B:目標をほぼ達成している(80～99%)、 C:施策を実施中(21～79%)、D:研究・調査段階(1～20%)、E:未着手(凍結)(0%)
C	【目標担当課：環境政策課】 環境に関する事業が継続的に行われており、一定の参加者数を得ていますが、より幅広い市民の環境に関する活動への参加状況については把握しておらず、課題となっています。今後は「市政アンケート調査(3,000 人を対象にした手紙によるアンケート)」を活用し、目標の達成状況の目安とすることを検討しています。

目標18に向けた取り組み①

重点施策34 意識啓発・人材育成

■平成24年度の取り組み目標

「より幅広い主体の連携により、環境に関する講座等を実施し、プログラムの充実を図ります。
環境政策課からの働きかけにより、社会教育課や各公民館等との連携体制を構築します。」

■取り組みの概要

環境に関するイベントや情報等について、広報紙、市ホームページ、タウン紙、市役所本庁舎2階の「環境掲示板」等で周知を行いました。また、広報ちがさきに折り込みの「茅ヶ崎市環境基本計画年次報告書特集号(2月発行)」や、「ごみ通信ちがさき(10月、3月発行)」を通じて、幅広い市民の方を対象に情報を発信しました。

平成24年度に市民活動団体等との協働により実施した、市民等を対象とした環境に関する事業は巻末資料130ページのとおりです。また、市内5館の公民館、文化資料館、青少年会館、海岸青少年会館においても、環境に関する講座を実施しています(巻末資料133ページ参照)。平成24年度は、環境基本計画の推進を図るため、環境政策課から公民館等に対して環境に関する講座の実施を働きかけました。平成25年度は公民館等において20事業の講座等を実施予定です。



広報ちがさき「茅ヶ崎市環境基本計画年次報告書特集号」。毎年発行していますが、計画の改定に伴い、デザイン・内容を一新しました。

注目！トピックス

里山はっけん隊！：平成20年度からスタートした環境学習事業で、四季の里山を訪れ、動植物の営みや自然と人との関わりを「はっけん！」しています。平成24年度より(公財)神奈川県公園協会との共催が実現し、公園職員の専門知識を活かし、より充実したプログラムとすることができました。参加者アンケートからは、「里山について前より詳しくなった」「里山が前より好きになった」との感想を多く頂きました。



ちがさき環境フェア2012：第12回となった平成24年度の環境フェアは、中央公園の野外ステージの開設や、「地産地消」をテーマにした飲食店の出店など、新たな企画を取り入れ、例年の倍のご来場者で熱気に包まれました。



■課題と今後の方向性

イベント情報の発信については、各担当課・施設の講座情報を効率的に集約・提供することが課題であり、ホームページの活用等により、参加者の増加を目指します。将来的には地球温暖化対策に関するポータルサイト「ちがさきエコネット」を開設し、さらなる意識啓発を図ります。

講座等の実施については、市民との協力により継続的に事業を実施します。また、文化資料館で収蔵している自然史資料の展示を通じた活用の推進も、今後の課題となっています。

■平成 24 年度予算執行状況・平成 25 年度予算額

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
環境政策課	2,071 千円	1,337 千円	18,14 千円
	(里山はっけん隊！事業費 213 千円)	(180 千円)	(192 千円)
	(エコ・クッキング事業費 40 千円)	(28 千円)	(40 千円)
	(環境市民講座等事業費 143 千円)	(35 千円)	(143 千円)
	(農業・漁業体験プロジェクト事業費 246 千円)	(120 千円)	(20 千円)
	(環境フェア事業費 1,414 千円)	(974 千円)	(1,419 千円)
	(こどもエコクラブ交流会事業費 15 千円)	(0 千円)	(0 千円)
社会教育課	0 千円	0 千円	0 千円

■重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安：
B	A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、－:取り組みなし(0%)
【施策実施担当課：環境政策課・社会教育課】	

■スケジュール

短期：H23～	中期：H26～(案)	長期：H29～(案)
①情報の内容及び発信方法等の改善、随時更新		
②市民等を対象とした環境に関する事業の実施		

目標 18 に向けた取り組み②

重点施策 35 現在活動している市民や市民活動団体、事業者による環境保全の取り組みの支援

■平成24年度の取り組み目標

「継続して、環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動を支援します。

ちがさき環境フェア2012の開催にあたり、市民活動団体、事業者の取り組みをPRする機会を提供します。」

■取り組みの概要

環境市民会議「ちがさきエコワーク」は、環境基本計画の施策を効果的に進め、望ましい環境を実現するために活動している、市が設置した市民組織です。市は事務局として会議室の提供、資料の印刷等を行ったほか、環境市民講座等の取り組みをホームページ等でPRしました。(環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動状況は巻末資料136ページをご参照ください。)また、市民活動団体や事業者の取り組みをPRする機会として、ちがさき環境フェア2012において環境展を開催し、ミニステージでの発表やパネル展示を通じて、市民活動団体や事業者の取り組みをPRする機会を提供できました。

その他、環境保全課、資源循環課、景観みどり課による市民活動団体・事業者への各種支援を実施しており、今後も継続して実施していきます。



環境市民会議「ちがさきエコワーク」総会の様子



環境フェア初となる事業者の発表(東邦チタニウム)

注目！トピックス

事業者による北茅ヶ崎駅周辺美化活動: JR北茅ヶ崎駅に隣接する東邦チタニウム株式会社の「ウィライズサークル」さんは、日頃から地域の美化活動に取り組まれている女性社員グループです。サークルの皆さんの「多くの方が利用する駅前を少しでもきれいにしたい」という善意の心から、市との連携による駅前美化活動が実現しました。季節の花で彩られた花壇は、駅利用者の方からの評判も上々です。



●市民活動団体・事業者への支援状況

項目【担当課】 (内容)	平成23年度	平成24年度
環境美化推進事業【環境保全課】 自主的に清掃活動を実施している自治会やボランティア等の団体に対して、ゴミ袋や軍手の提供と収集されたごみの回収を行っています。	団体数 108 団体/ 参加人員 24,339 人	団体数 75 団体/ 参加人員 11,469 人

項 目【担当課】 (内 容)	平成 23 年度	平成 24 年度
民間団体補助事業【環境保全課】 各種団体が実施する美化推進事業に対して助成を行っています。	団体数 23 団体/ 補助金額 272,693 円	団体数 26 団体/ 補助金額 336,623 円
資源回収推進地域補助金制度【資源循環課】 自治会区域内で回収された資源物の収集量に応じて補助金を交付しています。	交付団体数 134 団体/ 補助金額 30,168 千円	交付団体数 134 団体/ 補助金額 37,310 千円
緑化推進団体活動事業費補助金制度【景観みどり課】 自治会等が行う緑化活動の一部を補助しています。	交付団体数 6 団体/ 補助金額 48,000 円	交付団体数 6 団体/ 補助金額 48,000 円
茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会への支援【景観みどり課】 市内事業者で構成される茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会の 里山保全事業、視察・見学会、各会員の事業見学会などを通じた 緑化推進活動を支援しています。	会員事業者数 25 社/ 補助金額 16,000 円	会員事業者数 25 社/ 補助金額 16,000 円

■課題と今後の方向性

環境市民会議「ちがさきエコワーク」は平成 12 年の設立から 10 年以上が経過し、新たなメンバーの獲得が課題であり、広報紙やホームページの活用により、参加の拡大を図ります。

各団体の取り組み内容については、市が把握しきれていない部分もあり、今後は、積極的な情報収集を行い、支援につなげてゆくことが課題となっています。

■平成 24 年度予算執行状況・平成 25 年度予算額

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
環境政策課	1,557 千円	1,009 千円	1,562 千円
	(環境市民講座等事業費 143 千円)	(35 千円)	(143 千円)
	(環境フェア事業費 1,414 千円)	(974 千円)	(1,419 千円)

■重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安： A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、ー:取り組みなし(0%)
B	
【施策実施担当課：環境政策課】	

■スケジュール

短期：H23～	中期：H26～(案)	長期：H29～(案)
①必要な支援の実施、適宜見直し		
②広報紙等での活動の紹介や表彰などによる活動促進		

施策の柱5. 3 学校における環境教育の充実

目標 19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション³の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課：環境政策課】

■目標の達成状況

項 目	平成 23 年度	平成 24 年度
地域資源を活用した環境学習(※)の回数	83 回	88 回
地域資源を活用した環境学習の実施校数 (市立小中学校総数:32 校)	31 校	30 校

(※)地域資源を活用した環境学習の回数:スクールエコアクションの報告から、①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力の下に行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項 目	平成 23 年度	平成 24 年度
スクールエコアクション導入校(市立小中学校総数:32 校)	32 校	32 校

■目標の達成状況への評価

評価	目標に対する評価の目安:
C	A:目標を全て達成している(100%)、B:目標をほぼ達成している(80～99%)、 C:施策を実施中(21～79%)、D:研究・調査段階(1～20%)、E:未着手(凍結)(0%)

³ スクールエコアクション(学校版 EMS):学校において、児童・生徒等が環境に配慮した生活様式を習得できるように、学校自らの環境活動の方針や目標等を設定し、その達成を目指して継続的に活動に取り組んでいくものです。

各学校と地域との連携による環境教育の充実のため、平成 24 年度に環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール～学校と地域をつなげる環境教育～」を市ホームページ内に開設し、地域資源を活用した環境学習の回数増加を目指しています。また、平成 23 年度に市内の全小中学校への導入を達成したスクールエコアクションについては、引き続き全学校での取り組みを継続し、全体的な底上げとレベルアップを図っています。学校における環境教育の実施状況については、スクールエコアクションの活動報告から結果を取りまとめているますが、今後は市民活動団体等への調査等も行いながら、より正確な実態の把握と支援に努めることが課題となっています。

目標 19 に向けた取り組み①

重点施策 36 地域と連携した環境教育

■平成 24 年度の取り組み目標

「各担当課との連携により環境学習ホームページを開設します。」

■取り組みの概要

学校における環境教育の支援を目的として、平成 25 年 3 月に環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」を開設しました。サイト上では、市職員が提供する環境プログラムを「出前授業」一覧としてまとめ、従来、一部の学校からの直接依頼により実施していた出前授業の情報を、サイト上に一元化することで、すべての学校が情報にアクセスできる環境が整ったことを学校関係者へ周知し活用を図りました。



平成 25 年 3 月に開設した環境学習支援サイト
「ちがさきエコスクール」

サイト開設に併せて、出前授業の実施状況を各担当課から環境政策課に報告する仕組みを構築したことにより、環境学習の実施状況をより的確に把握することが可能になりました。

なお、計画策定当初は紙媒体での環境プログラムのガイドブック作成を予定していましたが、即時に最新の情報が掲載でき、多様な表現が可能なホームページでの情報発信に代えることとしました。

■課題と今後の方向性

今後は、より多くの学校で利活用していただけるよう、教育現場のニーズの把握に努めてまいります。また、事業者や市民活動団体との連携によるプログラムの充実を目指してまいります。

■平成 24 年度予算執行状況・平成 25 年度予算額

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
農業水産課	0 千円	0 千円	0 千円
環境政策課	0 千円	0 千円	0 千円
景観みどり課	0 千円	0 千円	0 千円

■重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安： A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、－:取り組みなし(0%)
B	
【施策実施担当課：農業水産課・環境政策課・景観みどり課】	

■スケジュール

短期：H23～	中期：H26～(案)	長期：H29～(案)
①環境教育ホームページの作成、掲載情報の随時更新		

目標 19 に向けた取り組み②

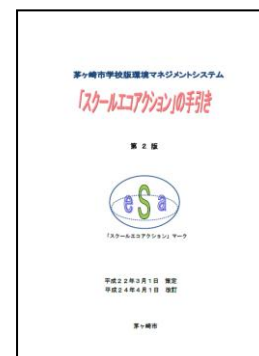
重点施策 37 学校における取り組みの支援

■平成 24 年度の取り組み目標

「スクールエコアクションの実績報告様式の見直しにより、各学校の環境に関する取り組みの的確な把握に努めます。また、平成 25 年度の環境フェアにおける『スクールエコアクション発表会』の実施に向けて、環境政策課と学校教育指導課の連携により、学校との調整を図ります。」

■取り組みの概要

市内全小中学校へのスクールエコアクションの導入から 2 年が経過し、年度末に自主的に活動報告書を提出する学校が徐々に増え、学校での取り組みとして定着してきていることが伺えます。平成 24 年度は、「ちがさき環境フェア 2012」において、各学校の活動紹介を展示して、スクールエコアクションの周知を図りました。また、各学校と環境政策課、学校教育指導課の連携により、「スクールエコアクション発表会」の実施を目指した協議を重ね、「ちがさき環境フェア 2013」において、市内中学校 2 校(円蔵中学校・赤羽根中学校)の活動発表をすることとなりました。平成 26 年度以降も環境フェアにおいて中学校 2 校の発表を継続して行う予定です。



「スクールエコアクション」は「学校版環境マネジメントシステム」です。

スクールエコアクションの取り組み：学校生活での環境活動について目標を立てて実行し、振り返りをして次につなげていくシステムです。学年の始めに、①環境についての学習、②電気、水、物を大切に使う活動、③捨てるごみを減らす活動、④その他の4項目について、活動内容を決めて実施します。

②電気、水、物を大切に使う活動

節約 電

むだづかい

と撃退しよう!!

④その他 緑のカーテンの設置や地域清掃など、各学校オリジナルで考えています。

■課題と今後の方向性

今後は、各学校が環境活動へ自主的、継続的に取り組めるよう各種支援を継続すること、また、各学校の取り組みについての情報共有を図ることが課題であり、学校との連絡・調整を図りながら、各学校の優秀な取り組み等の情報発信・共有のための施策の検討及び実施を行います。

■ 予算執行状況

担当課	平成 24 年度 予算額	平成 24 年度 決算額	平成 25 年度 予算額
環境政策課	0 千円	0 千円	(スクールエコアクション褒賞費)30 千円
学校教育指導課	0 千円	0 千円	0 千円

重点施策の進捗状況に対する評価

評価	重点施策に対する評価の目安：
B	A:極めて順調に進んでいる(90%以上)、B:概ね順調に進んでいる(75～89%)、 C:ある程度進んでいる(60～74%)、D:あまり進んでいない(40～59%)、 E:今後、積極的な取り組みが必要(39%以下)、一:取り組みなし(0%)
【施策実施担当課：環境政策課・学校教育指導課】	

■スケジュール

短期: H23～	中期: H26～(案)	長期: H29～(案)
①学校エコアクションの導入・見直し 		